

# ダイワ日本国債ファンド (毎月分配型)

## 運用報告書 (全体版)

第171期 (決算日 2020年10月12日)  
第172期 (決算日 2020年11月10日)  
第173期 (決算日 2020年12月10日)  
第174期 (決算日 2021年1月12日)  
第175期 (決算日 2021年2月10日)  
第176期 (決算日 2021年3月10日)

(作成対象期間 2020年9月11日～2021年3月10日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、わが国の国債に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券		
信託期間	無期限		
運用方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ日本国債マザーファンドの受益証券	
	ダイワ日本国債マザーファンド	わが国の公社債	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、基準価額の水準等によっては、上記にかかわらず今後の安定分配を継続するための分配原資の水準を考慮したうえで分配を付加することがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			ダイワ・ボンド・インデックス (DBI) 国債指数 (参考指数)		公社債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
147期末(2018年10月10日)	9,547	20	△0.2	12,928	△0.5	99.4	—	242,950
148期末(2018年11月12日)	9,551	20	0.3	12,974	0.4	99.2	—	237,318
149期末(2018年12月10日)	9,577	20	0.5	13,071	0.7	99.1	—	233,923
150期末(2019年1月10日)	9,574	20	0.2	13,143	0.6	99.4	—	226,017
151期末(2019年2月12日)	9,576	20	0.2	13,222	0.6	99.1	—	223,170
152期末(2019年3月11日)	9,566	20	0.1	13,249	0.2	99.2	—	220,940
153期末(2019年4月10日)	9,562	20	0.2	13,305	0.4	99.2	—	216,084
154期末(2019年5月10日)	9,534	20	△0.1	13,297	△0.1	99.0	—	213,864
155期末(2019年6月10日)	9,560	20	0.5	13,441	1.1	99.3	—	212,447
156期末(2019年7月10日)	9,538	20	△0.0	13,443	0.0	99.4	—	209,219
157期末(2019年8月13日)	9,597	20	0.8	13,642	1.5	99.2	—	208,593
158期末(2019年9月10日)	9,560	20	△0.2	13,566	△0.6	98.9	—	205,324
159期末(2019年10月10日)	9,535	20	△0.1	13,523	△0.3	99.4	—	203,486
160期末(2019年11月11日)	9,418	20	△1.0	13,363	△1.2	99.1	—	199,645
161期末(2019年12月10日)	9,369	20	△0.3	13,351	△0.1	99.0	—	197,442
162期末(2020年1月10日)	9,341	20	△0.1	13,337	△0.1	99.5	—	195,218
163期末(2020年2月10日)	9,356	20	0.4	13,417	0.6	99.2	—	193,272
164期末(2020年3月10日)	9,345	20	0.1	13,458	0.3	99.1	—	191,062
165期末(2020年4月10日)	9,269	20	△0.6	13,312	△1.1	99.2	—	186,599
166期末(2020年5月11日)	9,251	20	0.0	13,298	△0.1	99.0	—	185,229
167期末(2020年6月10日)	9,217	20	△0.2	13,260	△0.3	99.5	—	183,024
168期末(2020年7月10日)	9,205	20	0.1	13,255	△0.0	99.4	—	182,283
169期末(2020年8月11日)	9,174	20	△0.1	13,246	△0.1	99.2	—	179,968
170期末(2020年9月10日)	9,150	20	△0.0	13,233	△0.1	99.1	—	177,398
171期末(2020年10月12日)	9,135	20	0.1	13,234	0.0	99.4	—	175,283
172期末(2020年11月10日)	9,114	20	△0.0	13,232	△0.0	99.1	—	173,296
173期末(2020年12月10日)	9,109	20	0.2	13,272	0.3	99.2	—	170,572
174期末(2021年1月12日)	9,078	20	△0.1	13,237	△0.3	99.4	—	168,000
175期末(2021年2月10日)	9,031	20	△0.3	13,190	△0.3	99.4	—	164,731
176期末(2021年3月10日)	8,987	20	△0.3	13,149	△0.3	99.1	—	161,454

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) ダイワ・ボンド・インデックス (DBI) 国債指数 (参考指数) は、ダイワ・ボンド・インデックス (DBI) 国債指数の原データに基づき、当ファンド設定日の前営業日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。ダイワ・ボンド・インデックス (DBI) 国債指数は、株式会社大和総研が公表している日本国債のパフォーマンス・インデックスです。

(注3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注4) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

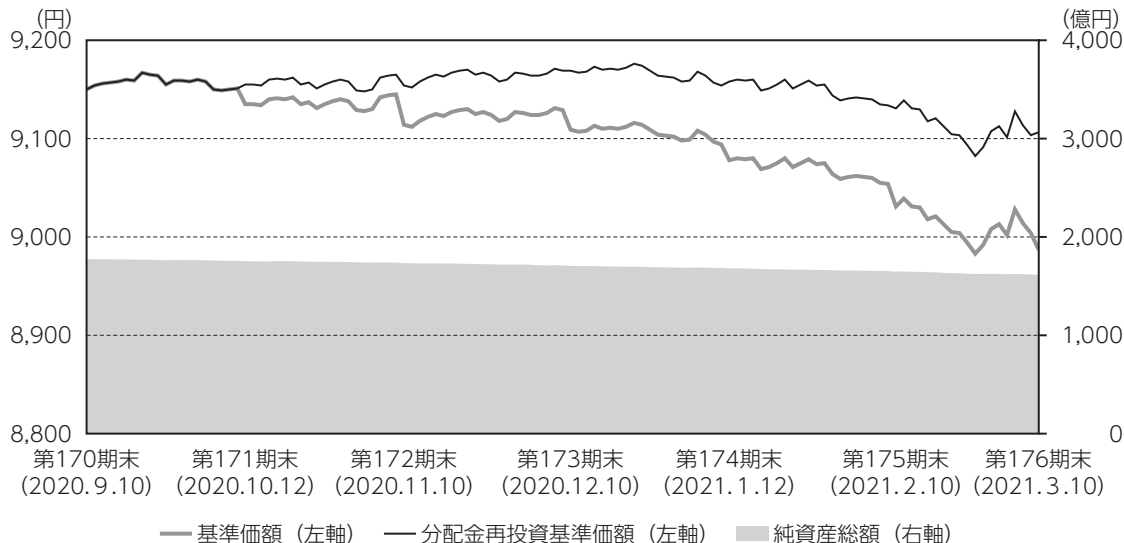
(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

(注6) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### ■ 基準価額・騰落率

第171期首：9,150円

第176期末：8,987円（既払分配金120円）

騰落率：△0.5%（分配金再投資ベース）

### ■ 基準価額の主な変動要因

主として「ダイワ日本国債マザーファンド」の受益証券を通じてわが国の国債に投資した結果、金利の上昇により債券価格が下落したことなどから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ日本国債ファンド（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		ダイワ・ボンド・インデックス ( D B I ) 国 債 指 数 (参考指数)		公 社 債 率 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第171期	(期首) 2020年 9 月10日	円	%				
	9 月末	9,150	－	13,233	－	99.1	－
	(期末) 2020年10月12日	9,159	0.1	13,250	0.1	99.3	－
第172期	(期首) 2020年10月12日	9,155	0.1	13,234	0.0	99.4	－
	10 月末	9,135	－	13,234	－	99.4	－
	(期末) 2020年11月10日	9,129	△0.1	13,227	△0.1	99.5	－
第173期	(期首) 2020年11月10日	9,134	△0.0	13,232	△0.0	99.1	－
	11 月末	9,114	－	13,232	－	99.1	－
	(期末) 2020年12月10日	9,120	0.1	13,245	0.1	99.4	－
第174期	(期首) 2020年12月10日	9,129	0.2	13,272	0.3	99.2	－
	12 月末	9,109	－	13,272	－	99.2	－
	(期末) 2021年 1 月12日	9,098	△0.1	13,248	△0.2	99.4	－
第175期	(期首) 2021年 1 月12日	9,098	△0.1	13,237	△0.3	99.4	－
	1 月 末	9,078	－	13,237	－	99.4	－
	(期末) 2021年 2 月10日	9,064	△0.2	13,210	△0.2	99.5	－
第176期	(期首) 2021年 2 月10日	9,051	△0.3	13,190	△0.3	99.4	－
	2 月 末	9,031	－	13,190	－	99.4	－
	(期末) 2021年 3 月10日	8,983	△0.5	13,091	△0.8	99.3	－
		9,007	△0.3	13,149	△0.3	99.1	－

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

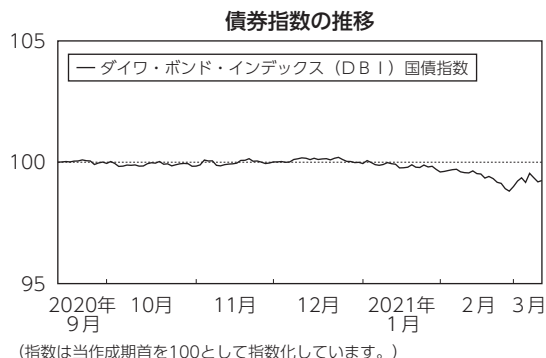
## 投資環境について

(2020.9.11～2021.3.10)

### 国内債券市況

国内債券市場では、長期金利は上昇（債券価格は下落）しました。

当作成期首より、日銀による長短金利操作のもとで長期金利はおおむね横ばいで推移しました。2021年1月以降は、米国の追加経済対策への期待や日銀が長期金利の変動許容幅を拡大するとの観測などから、長期金利は上昇しました。



## 前作成期末における「今後の運用方針」

### 当ファンド

主として「ダイワ日本国債マザーファンド」の受益証券を通じて、わが国の国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざした運用を行います。

### ダイワ日本国債マザーファンド

運用の基本方針に基づき、わが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間（残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分）の各投資金額がほぼ同程度となるような運用（ラダー型運用）を行ってまいります。

## ポートフォリオについて

(2020.9.11～2021.3.10)

### ■当ファンド

主として「ダイワ日本国債マザーファンド」の受益証券を通じて、わが国の国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざした運用を行いました。

### ■ダイワ日本国債マザーファンド

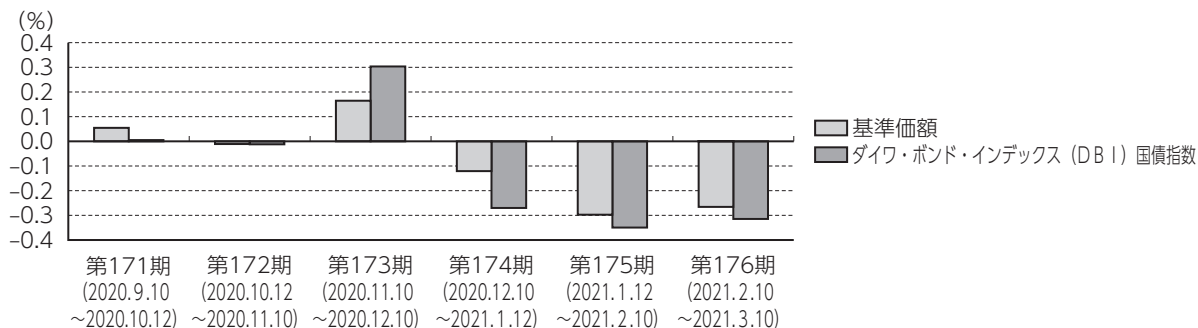
運用の基本方針に基づき、当作成期を通じてわが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間（残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分）の各投資金額がほぼ同程度となるような運用（ラダー型運用）を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。

当ファンドは運用スキーム上、参考指数と比較して残存15年以上の国債の組み入れがないという特徴があります。参考指数は国内債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第171期 2020年9月11日 ～2020年10月12日	第172期 2020年10月13日 ～2020年11月10日	第173期 2020年11月11日 ～2020年12月10日	第174期 2020年12月11日 ～2021年1月12日	第175期 2021年1月13日 ～2021年2月10日	第176期 2021年2月11日 ～2021年3月10日
<b>当期分配金（税込み）（円）</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>
対基準価額比率（%）	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22
当期の収益（円）	13	12	13	13	12	11
当期の収益以外（円）	6	7	6	6	7	8
翌期繰越分配対象額（円）	912	905	898	892	884	875

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第171期	第172期	第173期	第174期	第175期	第176期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 13.74円	✓ 12.68円	✓ 13.12円	✓ 13.72円	✓ 12.11円	✓ 11.64円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 918.81	✓ 912.59	✓ 905.31	✓ 898.45	✓ 892.19	✓ 884.32
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	932.55	925.28	918.43	912.18	904.30	895.97
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	912.55	905.28	898.43	892.18	884.30	875.97

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

主として「ダイワ日本国債マザーファンド」の受益証券を通じて、わが国の国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざした運用を行います。

### ■ダイワ日本国債マザーファンド

運用の基本方針に基づき、わが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間（残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分）の各投資金額がほぼ同程度となるような運用（ラダー型運用）を行ってまいります。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第171期～第176期 (2020.9.11～2021.3.10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	9円	0.097%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,100円です。
（投 信 会 社）	(4)	(0.041)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(4)	(0.041)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.000	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	9	0.097	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

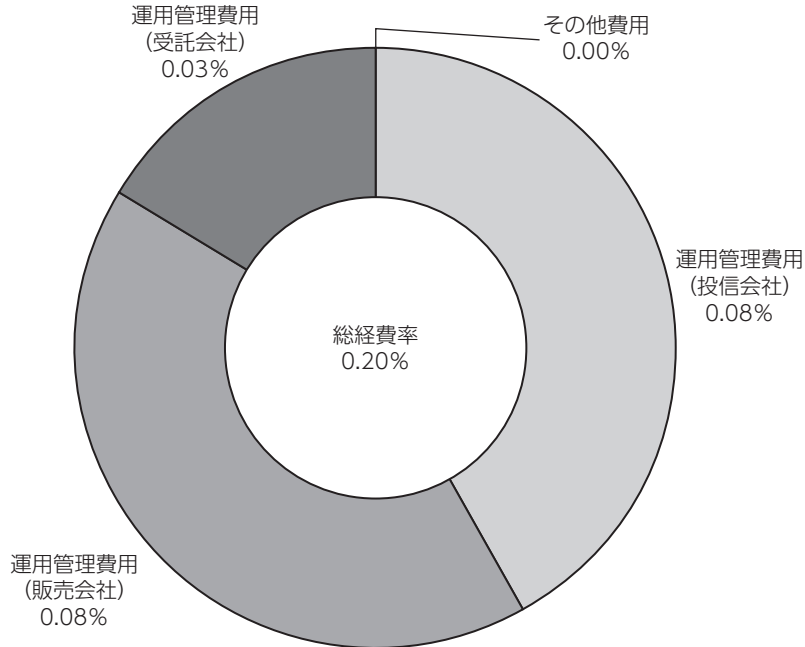
(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直前の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。



参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.20%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## ダイワ日本国債ファンド（毎月分配型）

### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年9月11日から2021年3月10日まで)

決算期	第171期～第176期					
	設定			解約		
	□	数	金額	□	数	金額
		千口	千円		千口	千円
ダイワ日本国債マザーファンド	530,648		669,760	12,728,025		16,051,689

(注) 単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

#### (1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

#### (2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2020年9月11日から2021年3月10日まで)

決算期	第171期～第176期					
	買付額等 A		うち利害 関係人との 取引状況B	売付額等 C		うち利害 関係人との 取引状況D
区分	百万円	%		百万円	百万円	
公社債	46,888	—	—	47,311	5,887	12.4
コール・ローン	84,092	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合92.2%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年10月12日)、(2020年11月10日)、(2020年12月10日)、(2021年1月12日)、(2021年2月10日)、(2021年3月10日)現在

項目	第171期末	第172期末	第173期末	第174期末	第175期末	第176期末
<b>(A) 資産</b>	<b>175,877,359,232円</b>	<b>173,926,542,592円</b>	<b>171,191,009,327円</b>	<b>168,606,061,699円</b>	<b>165,401,694,488円</b>	<b>162,047,974,133円</b>
コール・ローン等	520,926,218	502,541,652	522,963,670	523,161,165	490,657,179	490,690,058
ダイワ日本国債マザーファンド(評価額)	175,242,871,660	173,305,589,154	170,599,412,931	168,059,346,919	164,714,123,049	161,443,320,365
未収入金	113,561,354	118,411,786	68,632,726	23,553,615	196,914,260	113,963,710
<b>(B) 負債</b>	<b>593,518,000</b>	<b>630,189,350</b>	<b>618,256,499</b>	<b>605,602,476</b>	<b>669,744,461</b>	<b>593,570,416</b>
未払収益分配金	383,768,449	380,278,867	374,502,536	370,144,312	364,815,626	359,322,084
未払解約金	178,896,165	222,075,738	215,192,338	204,422,661	277,831,037	208,387,465
未払信託報酬	30,664,831	27,479,449	28,035,020	30,317,038	26,204,649	24,802,379
その他未払費用	188,555	355,296	526,605	718,465	893,149	1,058,488
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>175,283,841,232</b>	<b>173,296,353,242</b>	<b>170,572,752,828</b>	<b>168,000,459,223</b>	<b>164,731,950,027</b>	<b>161,454,403,717</b>
元本	191,884,224,822	190,139,433,892	187,251,268,427	185,072,156,469	182,407,813,171	179,661,042,231
次期繰越損益金	△ 16,600,383,590	△ 16,843,080,650	△ 16,678,515,599	△ 17,071,697,246	△ 17,675,863,144	△ 18,206,638,514
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>191,884,224,822□</b>	<b>190,139,433,892□</b>	<b>187,251,268,427□</b>	<b>185,072,156,469□</b>	<b>182,407,813,171□</b>	<b>179,661,042,231□</b>
1万口当り基準価額(C/D)	9,135円	9,114円	9,109円	9,078円	9,031円	8,987円

\*第170期末における元本額は193,879,368,447円、当作成期間(第171期～第176期)中における追加設定元本額は4,341,043,031円、同解約元本額は18,559,369,247円です。

\*第176期末の計算口数当りの純資産額は8,987円です。

\*第176期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は18,206,638,514円です。

### (3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

### ■組入資産明細表 親投資信託残高

種類	第170期末		第176期末	
	□	数	□	数
		千口		千口
ダイワ日本国債マザーファンド	140,765,762		128,568,384	
		千円		千円
		161,443,320		161,443,320

(注) 単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2021年3月10日現在

項目	第176期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ日本国債マザーファンド	161,443,320	99.6
コール・ローン等、その他	604,653	0.4
投資信託財産総額	162,047,974	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■損益の状況

第171期 自2020年9月11日 至2020年10月12日 第174期 自2020年12月11日 至2021年1月12日  
 第172期 自2020年10月13日 至2020年11月10日 第175期 自2021年1月13日 至2021年2月10日  
 第173期 自2020年11月11日 至2020年12月10日 第176期 自2021年2月11日 至2021年3月10日

項目	第 171 期	第 172 期	第 173 期	第 174 期	第 175 期	第 176 期
(A) 配当等収益	△ 7,884円	△ 3,087円	△ 4,814円	△ 4,002円	△ 1,731円	△ 2,350円
受取利息	139	19	47	44	21	20
支払利息	△ 8,023	△ 3,106	△ 4,861	△ 4,046	△ 1,752	△ 2,370
(B) 有価証券売買損益	124,469,493	13,928,434	310,719,729	△ 186,484,534	△ 458,547,770	△ 411,623,919
売買益	126,639,595	14,910,284	314,303,743	1,027,061	2,245,114	6,038,701
売買損	△ 2,170,102	△ 981,850	△ 3,584,014	△ 187,511,595	△ 460,792,884	△ 417,662,620
(C) 信託報酬等	△ 30,853,051	△ 27,647,365	△ 28,206,329	△ 30,508,898	△ 26,379,333	△ 24,967,718
(D) 当期損益金(A+B+C)	93,608,558	△ 13,722,018	282,508,586	△ 216,997,434	△ 484,928,834	△ 436,593,987
(E) 前期繰越損益金	△15,381,209,361	△15,328,284,200	△15,275,640,918	△15,021,380,818	△15,238,034,472	△15,658,736,658
(F) 追加信託差損益金	△ 929,014,338	△ 1,120,795,565	△ 1,310,880,731	△ 1,463,174,682	△ 1,588,084,212	△ 1,751,985,785
(配当等相当額)	( 17,630,542,368)	( 17,352,108,859)	( 16,952,156,032)	( 16,627,982,090)	( 16,274,400,476)	( 15,887,794,927)
(売買損益相当額)	(△18,559,556,706)	(△18,472,904,424)	(△18,263,036,763)	(△18,091,156,772)	(△17,862,484,688)	(△17,639,780,712)
(G) 合計(D+E+F)	△16,216,615,141	△16,462,801,783	△16,304,013,063	△16,701,552,934	△17,311,047,518	△17,847,316,430
(H) 収益分配金	△ 383,768,449	△ 380,278,867	△ 374,502,536	△ 370,144,312	△ 364,815,626	△ 359,322,084
次期繰越損益金(G+H)	△16,600,383,590	△16,843,080,650	△16,678,515,599	△17,071,697,246	△17,675,863,144	△18,206,638,514
追加信託差損益金	△ 1,049,071,614	△ 1,259,792,504	△ 1,439,651,353	△ 1,579,311,413	△ 1,732,001,586	△ 1,902,011,844
(配当等相当額)	( 17,510,485,092)	( 17,213,111,920)	( 16,823,385,410)	( 16,511,845,359)	( 16,130,483,102)	( 15,737,768,868)
(売買損益相当額)	(△18,559,556,706)	(△18,472,904,424)	(△18,263,036,763)	(△18,091,156,772)	(△17,862,484,688)	(△17,639,780,712)
繰越損益金	△15,551,311,976	△15,583,288,146	△15,238,864,246	△15,492,385,833	△15,943,861,558	△16,304,626,670

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項目	第 171 期	第 172 期	第 173 期	第 174 期	第 175 期	第 176 期
(a) 経費控除後の配当等収益	263,711,173円	241,281,928円	245,731,914円	254,007,581円	220,898,252円	209,296,025円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	17,630,542,368	17,352,108,859	16,952,156,032	16,627,982,090	16,274,400,476	15,887,794,927
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	17,894,253,541	17,593,390,787	17,197,887,946	16,881,989,671	16,495,298,728	16,097,090,952
(f) 分配金	383,768,449	380,278,867	374,502,536	370,144,312	364,815,626	359,322,084
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	17,510,485,092	17,213,111,920	16,823,385,410	16,511,845,359	16,130,483,102	15,737,768,868
(h) 受益権総口数	191,884,224,822□	190,139,433,892□	187,251,268,427□	185,072,156,469□	182,407,813,171□	179,661,042,231□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 171 期	第 172 期	第 173 期	第 174 期	第 175 期	第 176 期
1 万 口 当 り 分 配 金	20円	20円	20円	20円	20円	20円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

# ダイワ日本国債マザーファンド

## 運用報告書 第16期 (決算日 2021年3月10日)

(作成対象期間 2020年3月11日～2021年3月10日)

ダイワ日本国債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

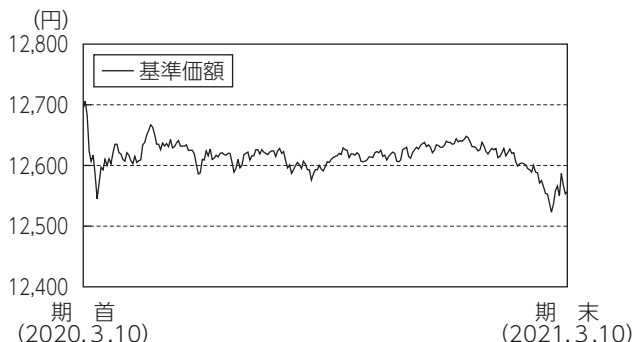
運用方針	わが国の国債を投資対象とし、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行ないます。
主要投資対象	わが国の公社債
株式組入制限	純資産総額の10%以下

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		ダイワ・ボンド・インデックス(DBI)国債指数		公 社 債 組入比率	債券先物 比
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首)2020年3月10日	12,694	-	13,299	-	99.1	-
3月末	12,603	△0.7	13,151	△1.1	99.3	-
4月末	12,663	△0.2	13,198	△0.8	99.2	-
5月末	12,625	△0.5	13,133	△1.2	99.2	-
6月末	12,605	△0.7	13,074	△1.7	99.5	-
7月末	12,624	△0.6	13,121	△1.3	99.5	-
8月末	12,586	△0.9	13,057	△1.8	99.3	-
9月末	12,619	△0.6	13,094	△1.5	99.3	-
10月末	12,607	△0.7	13,071	△1.7	99.4	-
11月末	12,625	△0.5	13,089	△1.6	99.3	-
12月末	12,624	△0.6	13,092	△1.6	99.4	-
2021年1月末	12,606	△0.7	13,054	△1.8	99.5	-
2月末	12,523	△1.3	12,937	△2.7	99.3	-
(期末)2021年3月10日	12,557	△1.1	12,994	△2.3	99.1	-

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) ダイワ・ボンド・インデックス (DBI) 国債指数は、ダイワ・ボンド・インデックス (DBI) 国債指数の原データに基づき、当ファンド設定日の前営業日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。ダイワ・ボンド・インデックス (DBI) 国債指数は、株式会社大和総研が公表している日本国債のパフォーマンス・インデックスです。
- (注3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。
- (注5) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：12,694円 期末：12,557円 騰落率：△1.1%

【基準価額の主な変動要因】

主としてわが国の国債に投資した結果、金利の上昇により債券価格が下落したことなどから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○国内債券市況

国内債券市場では、長期金利は上昇（債券価格は下落）しました。当作成期首より、金融市場の混乱を受けて国債にも換金売りが広がったことや、日銀の利下げ観測が後退したことから、長期金利は上昇しました。その後は、日銀による長短金利操作のもとで長期金利はおおむね横ばいで推移しました。2021年1月以降は、米国の追加経済対策への期待や日銀が長期金利の変動許容幅を拡大すると観測などから、長期金利は上昇しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

運用の基本方針に基づき、わが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間（残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分）の各投資金額がほぼ同程度となるような運用（ラダー型運用）を行ってまいります。

◆ポートフォリオについて

運用の基本方針に基づき、当作成期を通じてわが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間（残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分）の各投資金額がほぼ同程度となるような運用（ラダー型運用）を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

当ファンドは運用スキーム上、参考指数と比較して残存15年以上の国債の組み入れがないという特徴があります。参考指数は国内債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

運用の基本方針に基づき、わが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間（残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分）の各投資金額がほぼ同程度となるような運用（ラダー型運用）を行ってまいります。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2020年3月11日から2021年3月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国	国債証券	101,602,633	113,425,193 ( 12,701,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2020年3月11日から2021年3月10日まで)

		当 期		
		買 付	売 付	
		金 額	金 額	
		千円	千円	
59	20年国債 1.7% 2022/12/20	12,106,376	7 30年国債 2.3% 2032/5/20	13,259,553
63	20年国債 1.8% 2023/6/20	7,576,488	56 20年国債 2% 2022/6/20	12,512,615
116	20年国債 2.2% 2030/3/20	6,763,288	64 20年国債 1.9% 2023/9/20	8,854,555
20	30年国債 2.5% 2035/9/20	6,665,000	4 30年国債 2.9% 2030/11/20	8,497,992
8	30年国債 1.8% 2032/11/22	6,648,840	95 20年国債 2.3% 2027/6/20	7,862,065
140	20年国債 1.7% 2032/9/20	6,215,612	1 30年国債 2.8% 2029/9/20	7,014,352
110	20年国債 2.1% 2029/3/20	6,171,464	12 30年国債 2.1% 2033/9/20	7,007,192
94	20年国債 2.1% 2027/3/20	6,004,808	6 30年国債 2.4% 2031/11/20	6,660,576
106	20年国債 2.2% 2028/9/20	5,953,620	70 20年国債 2.4% 2024/6/20	6,604,740
19	30年国債 2.3% 2035/6/20	5,733,816	59 20年国債 1.7% 2022/12/20	4,998,000

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内(邦貨建) 公社債(種類別)

作 成 期	当 期		末 期		
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率
区 分	千円	千円	%	%	5年以上 2年以上 2年未満
国債証券	151,717,000	173,936,414	99.1	—	66.4 19.3 13.4

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。  
 (注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。  
 (注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入力しています。

(2) 国内(邦貨建) 公社債(銘柄別)

区 分	銘 柄	年 利 率	当 期		償 還 年 月 日
			額 面 金 額	評 価 額	
		%	千円	千円	
国債証券	54 20年国債	2.2000	11,187,000	11,388,589	2021/12/20
	56 20年国債	2.0000	4,500,000	4,621,365	2022/06/20
	59 20年国債	1.7000	7,295,000	7,530,190	2022/12/20
	63 20年国債	1.8000	6,400,000	6,678,976	2023/06/20
	64 20年国債	1.9000	4,200,000	4,414,032	2023/09/20
	68 20年国債	2.2000	5,025,000	5,377,252	2024/03/20
	70 20年国債	2.4000	5,438,000	5,885,873	2024/06/20
	75 20年国債	2.1000	6,374,000	6,937,844	2025/03/20
	80 20年国債	2.1000	4,173,000	4,563,384	2025/06/20
	86 20年国債	2.3000	5,000,000	5,596,100	2026/03/20
	88 20年国債	2.3000	5,360,000	6,027,963	2026/06/20
	94 20年国債	2.1000	5,200,000	5,870,228	2027/03/20
	95 20年国債	2.3000	5,105,000	5,852,984	2027/06/20
	101 20年国債	2.4000	4,860,000	5,683,332	2028/03/20
	102 20年国債	2.4000	3,000,000	3,523,920	2028/06/20
	106 20年国債	2.2000	2,000,000	2,329,500	2028/09/20
	110 20年国債	2.1000	4,500,000	5,243,580	2029/03/20
	111 20年国債	2.2000	500,000	588,850	2029/06/20
	1 30年国債	2.8000	4,850,000	5,975,054	2029/09/20
	116 20年国債	2.2000	4,900,000	5,833,352	2030/03/20
	121 20年国債	1.9000	700,000	818,923	2030/09/20
	4 30年国債	2.9000	3,800,000	4,819,388	2030/11/20
	130 20年国債	1.8000	4,500,000	5,272,335	2031/09/20
	6 30年国債	2.4000	5,250,000	6,493,462	2031/11/20
	140 20年国債	1.7000	5,200,000	6,089,252	2032/09/20
	8 30年国債	1.8000	4,800,000	5,681,328	2032/11/22
	145 20年国債	1.7000	4,600,000	5,417,052	2033/06/20
	12 30年国債	2.1000	5,100,000	6,269,022	2033/09/20
	15 30年国債	2.5000	4,100,000	5,288,795	2034/06/20
	16 30年国債	2.5000	4,700,000	6,083,821	2034/09/20
	19 30年国債	2.3000	4,400,000	5,623,992	2035/06/20
	20 30年国債	2.5000	4,700,000	6,156,671	2035/09/20
合計	銘柄数	32銘柄			
	金額		151,717,000	173,936,414	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年3月10日現在

項 目	当 期		
	評 価 額	比 率	
		千円	%
公社債	173,936,414	99.1	
コール・ローン等、その他	1,621,391	0.9	
投資信託財産総額	175,557,805	100.0	

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ日本国債マザーファンド

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年3月10日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>175,557,805,938円</b>
コール・ローン等	481,091,926
公社債(評価額)	173,936,414,310
未収利息	1,112,389,583
前払費用	27,910,119
<b>(B) 負債</b>	<b>117,771,953</b>
未払解約金	117,771,953
<b>(C) 純資産総額(A - B)</b>	<b>175,440,033,985</b>
元本	139,709,426,920
次期繰越損益金	35,730,607,065
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>139,709,426,920口</b>
<b>1万口当り基準価額(C/D)</b>	<b>12,557円</b>

\* 期首における元本額は162,410,813,865円、当作成期間中における追加設定元本額は2,556,136,330円、同解約元本額は25,257,523,275円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ日本国債ファンドV A (適格機関投資家専用) 166,931円、安定重視ポートフォリオ (奇数月分配型) 195,438,238円、6資産バランスファンド (分配型) 242,369,093円、6資産バランスファンド (成長型) 142,497,198円、ダイワ日本国債ファンド (毎月分配型) 128,568,384,459円、世界6資産均等分散ファンド (毎月分配型) 75,465,017円、ダイワ・株/債券/コモディティ・バランスファンド35,832,457円、ダイワ日本国債ファンド (年1回決算型) 10,288,271,309円、ダイワ・ニッポン応援ファンドVol.4 -日本の真価- (国債コース) 161,002,218円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,557円です。

## ■損益の状況

当期 自2020年3月11日 至2021年3月10日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>3,696,271,788円</b>
受取利息	3,696,467,754
支払利息	△ 195,966
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 5,791,230,220</b>
売買損	△ 5,791,230,220
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 5,358</b>
<b>(D) 当期損益金(A + B + C)</b>	<b>△ 2,094,963,790</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>43,753,544,642</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△ 6,596,981,003</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>669,007,216</b>
<b>(H) 合計(D + E + F + G)</b>	<b>35,730,607,065</b>
<b>次期繰越損益金(H)</b>	<b>35,730,607,065</b>

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。